



「学力向上」という名のもとに、今、学校現場や家庭の中では、かつてないプレッシャーと徹底した管理強化を子どもたちに押しつけようとしています。教育の目的は「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」であるはずですが、複雑な課題を持つ子どもたちが多い中、今こそ豊かな教育・学習が保障されなければならないのに……。今日はこの問題を皆さんで考え合いたいと思います。ぜひ、ご参加ください。



「学力向上対策」は学校・家庭・地域をどう変えていったのか

～道民の「学びあい」の源泉を見つめなおす～

講師 **井上 大樹**さん



北海道文教大学講師・北海道臨床教育学会事務局長・
恵庭市社会福祉審議会児童福祉専門部会委員

- 「行動する教育学者」として、札幌市内で10か所の大学・専門学校の講師をする傍ら、夜間中学、子育て支援の取り組みに関わり、現在は「子育て新システム」と「学力向上対策」に対し、どう地域の子育てのつながりを守り、深めるかを研究しつつ、多方面で取り込まれ活躍されています。
- 著書：『学校、親、社会そして自分の生き方に向けて』『地域参加を契機とした高校生の学習』『夜間中学の現在』『子ども理解を深める保育者養成の実践的構想』他

◆講演後、現場からの報告・フロアー交流を行います

□報告 若手現場教師から（「生活教育連盟」・「北海道作文教育協議会」）

とき

2014年1月13日(月)14:30~17:00

会場

札幌市生涯学習センター **ちえりあ** 研修室6

地下鉄東西線「宮の沢」駅直結・徒歩5分

参加費

500円（資料代）どなたでも参加できます！

【主催・連絡先】北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教)

〒069-0834 江別市文京台東1-8 テクノハイツII 101 ※転居しました

TEL.携帯 090-9752-3655 FAX. 011-374-3630

【E-mail】ittetu@alpha.ocn.ne.jp (太田)